

# ガールスカウト日本連盟における 女性のエンパワーメント促進活動の報告

平成 24 年 11 月 29 日  
公益社団法人ガールスカウト日本連盟  
会 長 浅野 万里子

## 1. 「国際ガールズ・デー」記念イベントの実施

- ✦ 期日:平成 24 年 10 月 8 日(月・祝)
- ✦ 会場:国連大学 ウ・タントホール(東京・渋谷区)
- ✦ 共催:国連広報センター、公益社団法人ガールスカウト日本連盟、公益財団法人プラン・ジャパン

昨年 12 月、国連総会で国際ガールズ・デー(毎年 10 月 11 日)が制定されました。この制定においては、プラン・インターナショナルを中心に、国際 NGO であるガールガイド・ガールスカウト世界連盟もヨーロッパ地域を中心に働きかけを行い実現に至ったという特筆すべき経緯があります。

第 1 回「国際ガールズ・デー」を記念し、日本では国連広報センター(UNIC)、途上国の女の子を支援しているプラン・ジャパン、そして日本の女の子のエンパワーメントに取り組んでいるガールスカウトにより、記念イベントを実施し、先進国・途上国に関わらず世界中のすべての女の子が自らの可能性を伸ばし、なりたい自分になれるよう、女の子へのエンパワーメントを行うこと、そして女の子のエンパワーメントこそが、国連ミレニアム開発目標を始めとした世界的課題を解く鍵であることを発信しました。当日はガールスカウトの中学生、高校生を含む多くの参加者がありました。

ガールスカウト日本連盟からは、「ガールスカウト Stop the Violence キャンペーン」(下記「2.」)委員会の 20 代のメンバー 3 人が、「女の子がつくる 暴力のない世界」をテーマにスピーチを行いました。若いリーダーは、日本の少女のごく身近にあるデート DV について少女たちが理解し、被害者にも加害者にもならない教育が必要であること、日本や先進国の少女たちが力をつけ世界に影響を与えていったなら、世界中の貧困や差別の中に生きる少女たちの生き方も変えていけること、その第一歩として、自分自身の周りにおける暴力に対して「No」と言える、そして自己肯定感を高め、自分も相手も大切に思える心を養い、差別や偏見のない社会を自分たちの意思と行動で創っていくことの大切さを訴えました。



## 2. 「ガールスカウト Stop the Violence キャンペーン」



ガールスカウト日本連盟では、世界 145 の国と地域のガールスカウトとともに「少女に対する暴力をなくす」キャンペーンを展開しています。今回のキャンペーンは、世界中の少女会員からの「私たちのまわりにある暴力について行動を起こしたい」という声を基に始まりました。

身体的暴力、精神的暴力、性的暴力、人身売買、性差別など、先進国・途上国にかかわらず、少女や若い女性のまわりのたくさんの危険や問題が彼女たちの人権をおびやかす、将来の可能性を奪うこともあります。これらの深刻な問題について、子どもや女性を対象とした取り組みはありますが、「少女自身が少女のためにアクションを起こす」という運動は、今まで世界中のどこにもありませんでした。世界 145 の国と地域 1000 万人の会員と国際的なネットワークをもつ、少女のための世界最大規模の教育団体、ガールスカウトでは、教育を通して、少女たちが暴力から身を守り、暴力に対して「No」と言い、差別や偏見のない社会を自分たちの意思と行動で作っていく力を養います。

### 3. 女性のエンパワーメント原則（WEPs）の広報



WEPs のリーフレットをガールスカウト日本連盟主催事業において配布し、各県の運営の長や指導者養成にあたる者などに WEPs についての説明を行いました。

事業	対象
9/29 賛助会員トレフォイル講演会(※)	賛助会員・一般参加者 48人
11/3～4 連盟長会議	全国 47 都道府県連盟の連盟長、 20～30 代のオブザーバー、理事 75人
9月～平成 25 年 1 月 トレーナーセミナー(全国 7 会場)	トレーナー・都道府県連盟役員 約 150 人(予定)

※岩田喜美枝氏(株式会社資生堂顧問・ガールスカウト日本連盟評議員)の講演会を開催しました。

「女性が社会で活躍すること ーより社会を元気に、より人生を豊かにー」をテーマに、働く女性としてのご自身の経験や(株)資生堂で女性活躍支援のために取り組んだ「仕事と子育ての両立支援策」やワーク・ライフ・バランスについて、また、WEPs の意義と内容についてもお話いただきました。講演会終了後も「女性の自立についてもっとお話を伺いたい」という大学生など十数人の輪ができ、岩田氏を囲む談話会となりました。

### 4. WAGGGS Leadership Development Programme (WLDP) の開催

<ul style="list-style-type: none"> <li>📅 期日:平成 24 年 10 月 3 日(水)～7 日(日) 5泊6日</li> <li>📍 会場:国立オリンピック記念青少年総合センター(東京・渋谷区)</li> <li>🤝 共催:ガールガイド・ガールスカウト世界連盟、公益社団法人ガールスカウト日本連盟</li> <li>👥 参加者:22 カ国より 42 人</li> </ul>
<p>【アフリカ地域】 ブルンジ、ナイジェリア      【アラブ地域】 エジプト、レバノン、リビア</p> <p>【アジア太平洋地域】 オーストラリア、バングラデシュ、カンボジア、フィジー、香港、マレーシア、 モルディブ、インド、モンゴル、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、スリランカ、タイ、日本</p> <p>【ヨーロッパ地域】 デンマーク、フィンランド</p>

WLDP とは、国際的な場で発揮できるリーダーシップ力を若い女性が身につけることと次代を担う人材の育成を目的として、ガールガイド・ガールスカウト世界連盟(WAGGGS)が、100 年にわたるリーダーシップ開発の経験をもとに、イギリスのエクスター大学の協力を得て開発した、リーダーシップ開発プログラムです。2008 年から 12 回、世界連盟の施設を中心に行われていますが、今回、初めてアジア太平洋地域において行われました。

プログラムの内容は「1. 価値観」「2. ノンフォーマル教育(学校外教育)」「3. 異文化経験と異文化交流」「4. 世代間の共有」の要素を組み合わせ、次のように構成されました。

- ①MY LEADERSHIP: リーダーとしての私、リーダーシップの理解
- ②SUPPORTING MY LEADERSHIP: リーダーシップのための技術、  
Leadership Field Visit ～日本のリーダー訪問～
- ③VISIONING & STRATEGIC PLANNING: 自分自身のリーダーシップのビジョン、ミッション、コーチング・メンタリング、  
自国の連盟におけるリーダーシップのビジョン
- ④APPLYING KNOWLEDGE TO MOs, COMMUNITY & SOCIETY:  
5 日間のふりかえり、自国の連盟で行うことの確認



3 日目(10月5日)には、“Leadership Field Visit” のプログラムにおいて、参加者が3つのグループに分かれ、衆議院議員小池百合子氏、リコーITソリューションズ会長國井秀子氏、ビジネス経験豊富な園山征夫氏にお会いし、それぞれのリーダー経験をお伺いしました。